

給排気グリル

室内給気部材 形 名

AT-50QKTF

取付工事・取扱説明書

■取付工事を始める前に、この説明書をよくお読みになり正しく安全に取付けてください。

■取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

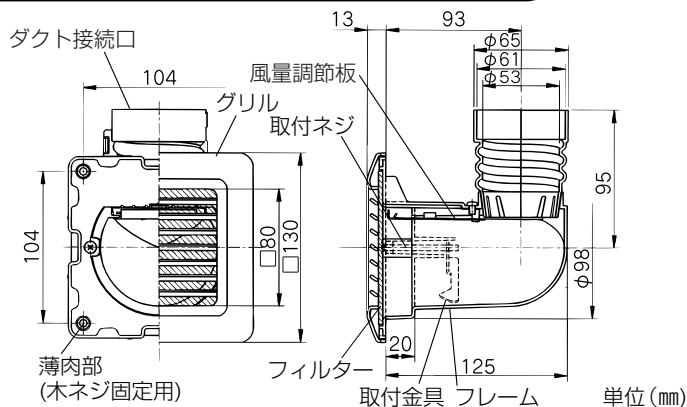


注意

誤った取扱いをしたときに傷害
または家屋・家財などの損害に
結びつくもの指示に従い
必ず行う

- 取付工事は十分強度のあるところを選んで確実にを行う
(落下によりけがをすることがあります)
- グリルの取付けは確実にを行う
(落下によりけがをすることがあります)
- 取付けやお手入れの際は、手袋を着用する
(着用しないとけがをすることがあります)

各部のなまえと外形寸法図



適用パイプ

- φ50フレキシブルダクト
- 外径φ60の塩ビ管

取付可能場所

- 天井・壁・床(踏みつけられない場所)

取付可能板厚

- 5～25mm
(取付金具で取付けられない場合
木ネジで固定してください)

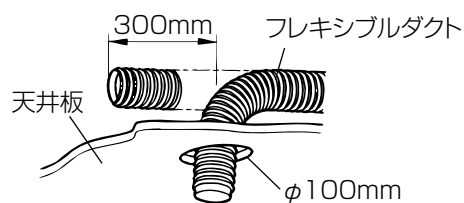
取付方法

お願い

開梱時、風量調節板は全開の状態です。必要な開口面積になるように調節して使用してください

■取付けには、天井取付け・壁取付け・床取付けの3通りあります。
ここでは、天井取付けを示します。壁取付けと床取付けは、同様に行ってください。

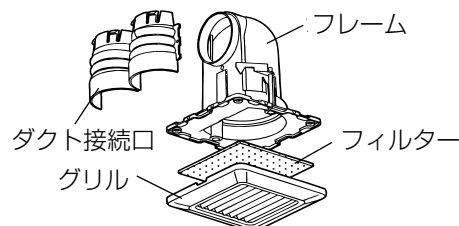
1



フレキシブルダクトの配管

- 1.フレキシブルダクトを取付位置まで配管し、取付位置より300mm程長くして切断する。
- 2.天井板を張り、取付位置にφ100mmの穴を開け、フレキシブルダクトを引き出す。

2

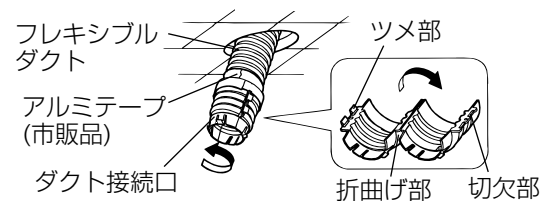


フレキシブルダクトの接続

- 1.ダクト接続口の折曲げ部を折り曲げ、ツメ部を切欠部にはめ込む。

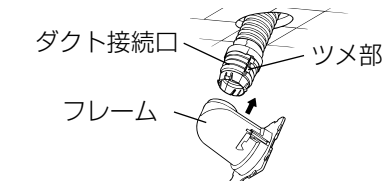
取付方法 つづき

2



- 2.ダクト接続口をフレキシブルダクトの先端にはめ込み、ダクト接続口を図のように時計と反対方向に回し確実にねじ込む。
- 3.フレキシブルダクトとダクト接続口の合わせ部全周をアルミテープで風漏れのないよう確実に巻き付ける。

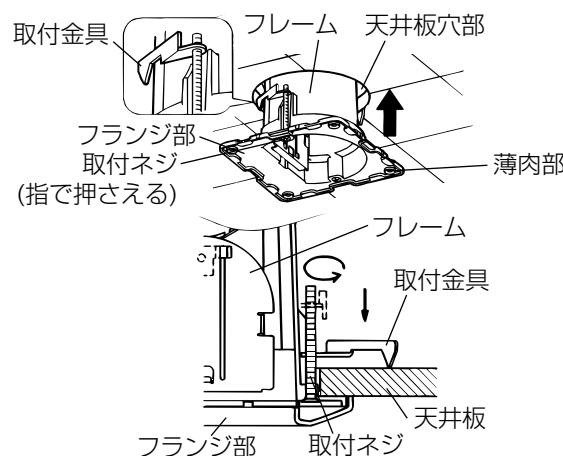
3



ダクト接続口とフレームの接続

図のようにダクト接続口のツメ部をフレームに対して横向きになるようにしてフレームの接続口に差し込む。

4



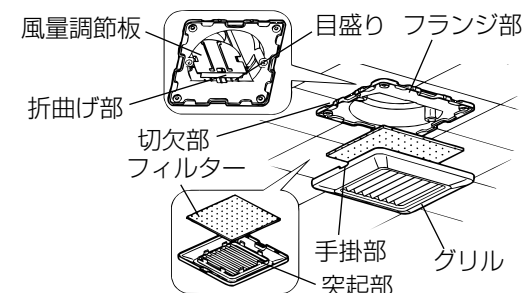
取付金具による取付け

- 1.取付金具を図の位置にしたままフランジ部の取付ネジを指で押さえながら、フレームを天井穴部に差し込む。
 - 取付ネジが下にさがると取付金具の位置がずれて天井板穴部に差し込めなくなります。必ず取付ネジを指で押さえてください。
- 2.フランジ部の取付ネジ(2本)を締め付けると図のように取付金具が下に移動し、フレームが天井板に確実に取付けられます。

木ネジによる取付け

- フランジ部の薄肉部(4か所)を市販の木ネジ(4本)にて締め付け固定する。

5



風量の調節とグリルの取付け

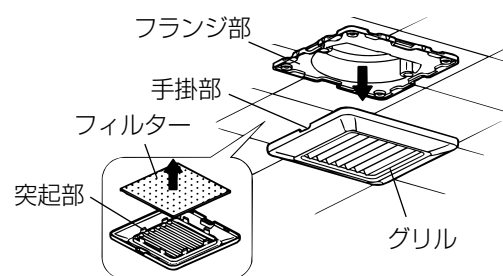
- 1.必要に応じて風量調節板により、開口面積を調節する。
 - 開梱時、風量調節板は全開の状態です。フレームの内側の目盛りを目安に、手またはラジオペンチ等で風量調節板を移動させ折曲げ部の位置で開口面積を決めます。
- 2.グリル内側の突起部(8か所)に、フィルターを置く。
- 3.グリルをお好みの風方向に合わせ、グリルの手掛部をフランジ部の切欠部に合わせてはめ込む。

お手入れ

グリル吸込口やフィルターにほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。

約2か月に1度を目安として清掃してください。

- 清掃の際には、接続されている換気扇の運転を停止してから行ってください。



- 1.グリルははずす。
 - グリルの両側の手掛部を持って下へ引きながらフランジ部からはずします。
- 2.グリルからフィルターを取り出す。
- 3.グリル・フィルターの清掃をする。
 - グリルの汚れはぬるま湯(40℃以下)に浸した布をかたくしぼってふく。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。
 - フィルターの汚れは、きれいな水で軽く水洗いし、よく乾かす。
- 4.フィルター・グリルを元通り取付ける。

お願い

- フィルターを入れ忘れますと壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないよう十分注意してください。フィルターはグリル内側の突起部(8か所)に差し込みます。
- お手入れには下記の溶剤を使用しないでください。シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ溶剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入の洗剤(変質・変色する原因になります)

株式会社メルコエアテック

〒508-8691 岐阜県中津川市駒場526-2 電話0573-66-9893 FAX0573-66-9894